

担当教員 福岡正太	Instructor Name FUKUOKA Shota			
開講期 前期	Class Starts at 1 st Semester	開講期間 半期	Period One Semester	対象年次 / Suggested Grade 3,4,5
科目コード / Subject Code 20DCSe01		単位 / Credit 2		
科目名称： 比較芸術研究 I		Subject: Lecture I (Anthropology of Art)		
<p>授業概要：</p> <p>東南アジア音楽のリズム構造について講義と演習をおこなう。</p> <p>Rhythmic Structure of Southeast Asian Music / Lecture and Seminar</p> <p>音楽は時間の中で展開する。人は音楽を奏でる際に、どのようにタイミングを計り、音を合わせるのか。複数のパートは、いかに複合的にリズムを編み上げるのか、時間的構成としての形式にはどのような特徴があるのか。この講義では、東南アジアの音楽を例に取り上げ、音を時間的に配置する方法、すなわち、音楽の時間的組織化の諸原理を探る。</p>				
<p>教育目標・目的：</p> <p>民族音楽学におけるリズム分析に用いられてきた概念を学んだ上で、東南アジアの諸地域における伝統音楽のリズムの特徴を把握し、それらの比較を通して東南アジア音楽に共通するリズム構成の原理、およびそれぞれの地域や音楽ジャンルのリズムの特徴を理解する。</p>				
<p>授業計画：</p> <p>講義と文献購読および学生によるプレゼンテーションの3回を1つのユニットとして、次の5つのテーマを取り上げる。なお、受講生の専門等により、テーマを変更することがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ゴング合奏にみるリズムのかけ合い 2. 王宮で発達した大規模合奏音楽にみるコロトミック構造 3. ガムランにみるリズムの密度の変化 4. リズムを合わせる点とそれに応じた音楽の構成法の比較 5. 古典歌謡にみる一定の拍節にしたがわないリズム 				
<p>成績評価：</p> <p>ディスカッション（30%）とレポート（70%）により評価する。</p>				
<p>実施場所：</p> <p>国立民族学博物館。詳細については、受講生と協議の上決定する。</p>				
<p>使用言語：</p> <p>日本語</p>				
<p>教科書・参考書：</p> <p>特になし。購読する文献については、受講者の専門等を勘案し授業中に指示する。</p>				
<p>備考：</p> <p>地域文化学専攻・比較文化学専攻の学生のみ履修可</p>				